DocuPrint C3360
DocuPrint 5060/4060/4050

PCL エミュレーション設定ガイド

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

はじめに

このたびは本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、PCL5、PCL5e、PCL6 エミュレーションについて記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および本機の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

セットアップガイド	本機の設置手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設メモリーやハードディスク、セキュリティ拡張キット、パラレルポート、ギガビットイーサネットカードの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、ユーザーズガイドを参照してください。
ユーザーズガイド (PDF)	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について、説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウエアのインストール方法について説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド (PDF)（本書）	ART IV、ESC/P、PCL、201H、HP-GL®、HP-GL/2® の各エミュレーションについて説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド (PDF)	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル (必要に応じて購入してください)	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足
・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ドライバー CD キットの CD-ROM を使って、Adobe Reader をインストールしてください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1.　エミュレーションを使用するには

使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。

2.　PCL モードの設定

PCL エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

   補足　補足事項を記述しています。

   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。

   参照「　」：参照先は、本書内です。

   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

   [　]：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。

   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

   ＞：操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

4. 本文中では、PCL5 と PCL6 をまとめて PCL と表記しています。

1　エミュレーションを使用するには

1.1　エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語の PCL エミュレーションについて説明します。

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、ほかのプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

	エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
カラープリンター	PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-CLJ5500
モノクロプリンター	PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-LJ4200

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。PCL に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- LPD ポート
- NetWare ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- USB-1（2.0）ポート
- USB-2（2.0）ポート
- Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

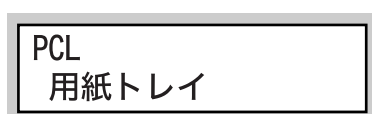
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。PCL のモードメニュー画面を表示するには、〈メニュー〉ボタンを押し、［プリント言語の設定］で［PCL］を選択してください。PCL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

```
PCL
 用紙トレイ
```

参照

・ PCL のモードメニュー項目：「2 PCL モードの設定」(P. 14)

1.2 フォントについて

ここでは、PCL エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

PCL エミュレーションでは、以下のフォントが使用できます。

補足
- 本機では､PCL5フォントをハードディスク(オプション)にダウンロードして使用することもできます。
- 使用できるフォントと、その印字見本は、[PCL フォントリスト］で確認できます。[PCL フォントリスト］については、「2.3 PCL モードのリストについて」(P. 20) を参照してください。

アウトラインフォント

欧文

- CG Times
- CG Times Italic
- CG Times Bold
- CG Times Bold Italic
- Univers Medium
- Univers Medium Italic
- Univers Bold
- Univers Bold Italic
- Univers Medium Condensed
- Univers Medium Condensed Italic
- Univers Bold Condensed
- Univers Bold Condensed Italic
- Antique Olive
- Antique Olive Italic
- Antique Olive Bold
- CG Omega
- CG Omega Italic
- CG Omega Bold
- CG Omega Bold Italic
- Garamond Antiqua
- Garamond Kursiv
- Garamond Halbfett
- Garamond Kursiv Halbfett
- Courier
- Courier Italic
- Courier Bold
- Courier Bold Italic
- Letter Gothic
- Leter Gothic Italic
- Letter Gothic Bold
- Albertus Medium
- Albertus Extra Bold
- Clarendon Condensed
- Coronet
- Marigold
- Arial
- Arial Italic
- Arial Bold
- Arial Bold Italic
- Times New
- Times New Italic
- Times New Bold
- Times New Bold Italic
- Symbol
- Wingdings
- Times Roman
- Times Italic
- Times Bold
- Times Bold Italic
- Helvetica
- Helvetica Oblique
- Helvetica Bold
- Helvetica Bold Oblique
- CourierPS

- CourierPS Oblique
- CourierPS Bold
- CourierPS Bold Oblique
- SymbolPS
- Palatino Roman
- Palatino Italic
- Palatino Bold
- Palatino Bold Italic
- ITC Bookman Light
- ITC Bookman Light Italic
- ITC Bookman Demi
- ITC Bookman Demi Italic
- Helvetica Narrow
- Helvetica Narrow Oblique
- Helvetica Narrow Bold
- Helvetica Narrow Bold Oblique
- New Century Schoolbook Roman
- New Century Schoolbook Italic
- New Century Schoolbook Bold
- New Century Schoolbook Bold Italic
- ITC Avant Garde Book
- ITC Avant Garde Book Oblique
- ITC Avant Garde Demi
- ITC Avant Garde Demi Oblique
- ITC Zapf Chancery Medium Italic
- ITC Zapf Dingbats
- OCR-B

ビットマップフォント

- Line Printer

1.3　排出機能について

排出機能について説明します。

残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。パラレルインターフェイス（オプション）、USB-1（2.0）インターフェイス、USB-2（2.0）インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、［自動排出時間］で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには［データ待ちです］が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足
- ディスプレイに［データ待ちです］が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常に印刷されないことがあります。
  次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

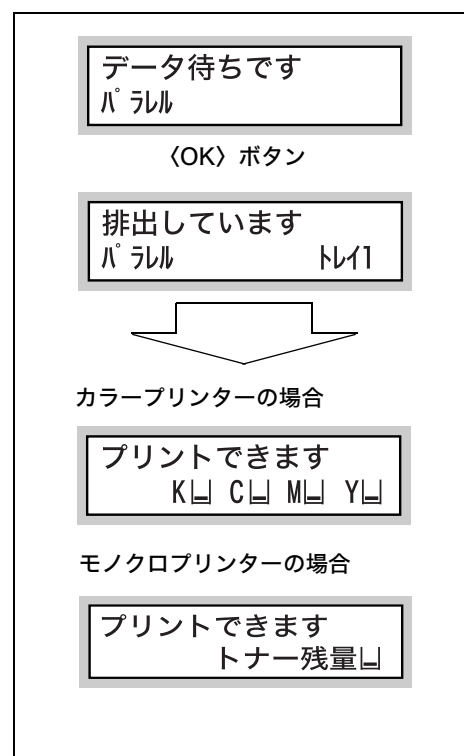
参照
- 自動排出時間：『ユーザーズガイド』

1. 右記のディスプレイ状態で〈OK〉ボタンを押します。

   印刷が開始されます。

   印刷が終了すると、［プリントできます］の表示になります。

補足
- お使いの機種によって、［プリントできます］の表示が異なります。

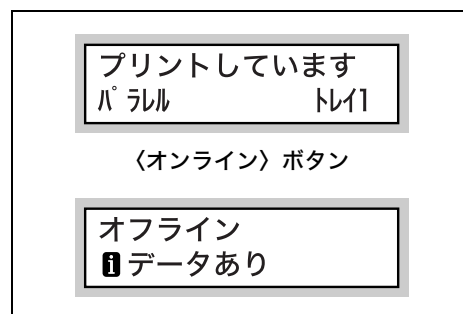
注記
- 共通メニュー項目の［プリントモード指定］が［自動］の場合、［データ待ちです］と表示されないため、強制排出できません。

プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

プリンターに受信されている、すべてのジョブを実行して印刷します。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

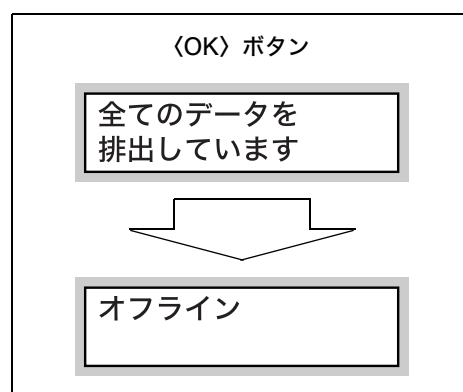
1. 右記のディスプレイ状態で〈オンライン〉ボタンを押します。

補足

・〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

すべてのジョブを実行して印刷すると、[オフライン］の表示になります。

補足

・パラレルインターフェイス、USB-1（2.0）インターフェイス、USB-2（2.0）インターフェイスを使用している場合、手順１の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
この場合、それ以降のデータは〈OK〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順３のオフライン解除後､新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
［プリントできます］の表示になります。

補足

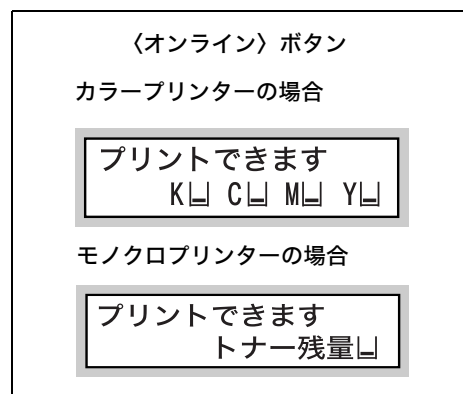
・［プリントできます］表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の［プリントモード指定］で［自動］が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

〈オンライン〉ボタン

カラープリンターの場合

プリントできます
K␣ C␣ M␣ Y␣

モノクロプリンターの場合

プリントできます
トナー残量␣

1.4　エミュレーションモードでの印刷機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機の印刷機能について説明します。

バーコード

PCL エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

・ Code39

・ JAN-8

・ JAN-13

・ NW7 (CODEBAR)

・ Code 128

・ ITF (Interleaved 2 of 5)

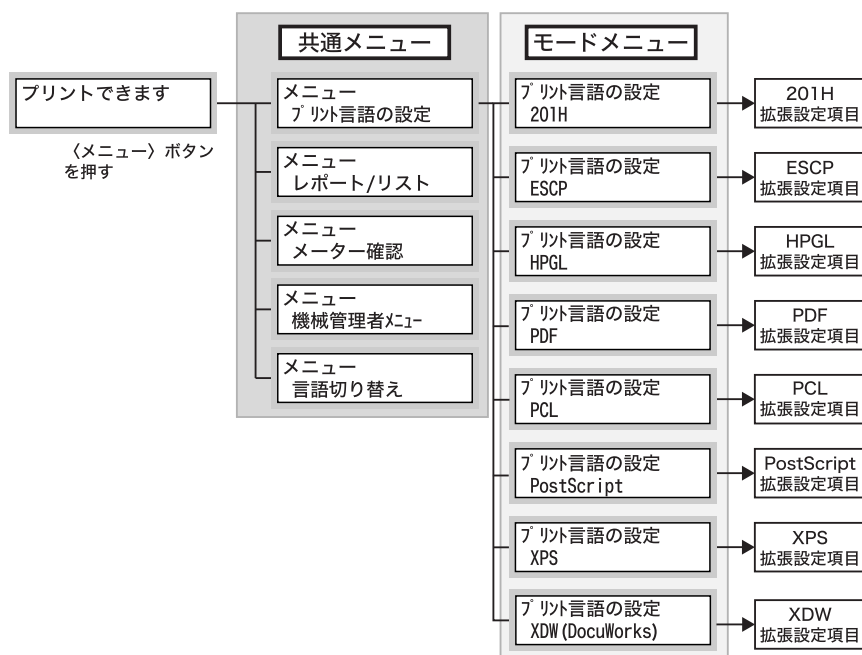
・ Post(Japanese postal Customer Code)

・ QR Code

2　PCL モードの設定

2.1　本機のメニューについて

メニューには、エミュレーション関連を設定するモードメニューと、プリンターのそのほかの設定を行う共通メニューがあります。

補足
・ お使いの機種によっては、モードメニューの［201H］［HPGL］［PCL］はオプションです。その場合、エミュレーションキット（オプション）または PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けているときに表示されます。
・ モードメニューの［PostScript］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

PCL に関する共通メニュー

PCL に関する共通メニューの設定項目について、説明します。

補足
・［パラレル］は、パラレルポート（オプション）を取り付けることで表示されます。

参照
・ 共通メニュー項目の詳細と操作方法：『ユーザーズガイド』

■ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] ＞［ネットワーク / ポート設定］で、PCL エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

・ ポートの起動（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1（2.0）/USB-2（2.0）/ Port9100）
　PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

・ プリントモード指定（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB-1（2.0）/USB-2（2.0）/Port9100）
各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［PCL］、または［自動］を選択します。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足
・［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［PCL］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 8) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■初期化 / データ削除

・ PCL マクロ削除
［機械管理者メニュー］＞［フォーム / マクロの削除］＞［PCL マクロ削除］で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、［マクロ登録はありません］と表示されます。

・ PCL フォント削除
［機械管理者メニュー］＞［フォント削除］＞［PCL フォント削除］で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、［フォント登録はありません］と表示されます。

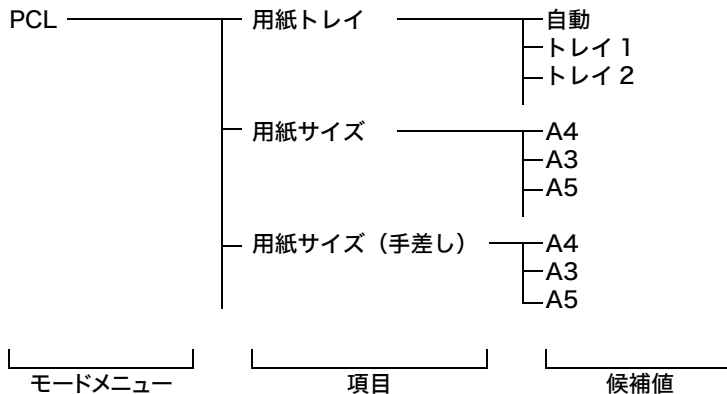
PCL モードメニューについて

PCL モードメニューは、PCL エミュレーション固有の設定をするためのメニューです。

モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

・ モードメニュー＞項目＞候補値

補足
・ 項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
（以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。）

上記の図は、PCL モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照
・ モードメニューで設定できる項目および操作：「2.2 PCL モードメニューの設定」(P. 16)

2.2 PCL モードメニューの設定

モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

PCL 設定項目一覧

PCL モードメニューで設定できる項目について説明します。

用紙トレイ

印刷に使用する用紙トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[自動]（初期値）
この場合、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。

[トレイ 1]

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[トレイ 5（手差し）] または [手差しトレイ]

[トレイ 6]

補足

- お使いの機種や取り付けられているオプション品によって、表示される候補値は異なります。詳しくは、お使いの機種の「モードメニュー一覧（PCL）を参照してください。
- [パラレル] は、パラレルポート（オプション）を取り付けることで表示されます。
- [自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A3] [A5] [B4] [B5]

[8.5×11"]（レター）

[8.5×13"]（フォリオ）

[8.5×14"]（リーガル）

[11×17"]（タブロイド）

[八開 (267x388mm)] [十六開 (194x267mm)]

[定形外]

補足

- [定形外] を選択した場合は、さらに [たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。
- お使いの機種によっては [8.5 x 13"]、[11 x 17"] は設定できません。

用紙サイズ（手差し）

手差しトレイを使って印刷する用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4]（初期値）

[A3] [A5] [A6] [B4] [B5] [B6]

[はがき] [封筒長型 3]

[8.5×11"]（レター）

[8.5×13"]（フォリオ）
[8.5×14"]（リーガル）
[5.5 x 8.5"][7.25 x 10.5"][8 x 10"]
[11x17"]（タブロイド）
[12 x 18"]
[八開 (267x388mm)][十六開 (194x267mm)]
[封筒モナーク][封筒 #10][封筒 DL][封筒 C5][定形外]

補足
- [定形外] を選択した場合は、さらに [たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。
- お使いの機種によって、[A6] [B6] [封筒長型 3] [8.5 x 13"] [5.5 x 8.5"] [7.25 x 10.5"] [8 x 10"] [11 x 17"] [12 x 18"] [封筒モナーク] [封筒 #10] [封筒 DL] [封筒 C5] は設定できません。

排出先

印刷した用紙の排出先トレイを設定します。
候補値は次のとおりです。
[センタートレイ]（初期値）
[排出トレイ]
[フィニッシャートレイ]
[メールボックス 1] ～ [メールボックス 10]
[拡張排出トレイ]

補足
- [排出先] は、排出先トレイが２つ以上ある場合に設定できます。また、お使いの機種や取り付けられているオプション品によって、設定できる候補値も異なります。詳しくはお使いの機種の「モードメニュー一覧 (PCL)」を参照してください。

印刷方向

用紙の印刷方向を [たて]（初期値)、または [よこ] から選択します。

両面

両面印刷をするかしないかを、[する]、または [しない]（初期値）で設定します。
両面印刷を [する] に設定した場合は、さらにとじ方向を [長辺とじ]（初期値)、または [短辺とじ] から選択できます。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は、[Courier] です。

シンボルセット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は、[ROMAN-8] です。

フォントサイズ

フォントサイズを設定します。初期値は、[12.00] です。4.00 ～ 50.00pt の間で 0.25pt 刻みに設定できます。

フォントピッチ

文字間を設定します。初期値は、[10.00] です。6.00 ～ 24.00cpi の間で 0.01cpi 刻みに設定できます。

フォームライン

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。初期値は、[64] です。5 ～ 128 行の間で 1 行刻みに設定できます。

部数

印刷する部数を、1 ～ 999 部の間で設定します。初期値は、［1 部］です。

ImageEnhancemet（イメージエンハンス）

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うか行わないかを、［有効］（初期値）、または［無効］で設定します。

HexDump

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを、16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷する機能です。HexDump での印刷をするかしないかを、［有効］（初期値)、または［無効］で設定します。

ドラフトモード

ドラフトモードでは、トナーを節約して印刷します。品質を落とす代わりに、高速で印刷できます。ドラフトモードでの印刷をするかしないかを、［有効］（初期値）、または［無効］で設定します。

カラーモード

カラーモードを［自動］（初期値)、［カラー］、または［白黒］から選択します。

補足
・［カラーモード］は、お使いの機種がカラープリンターの場合に設定できます。

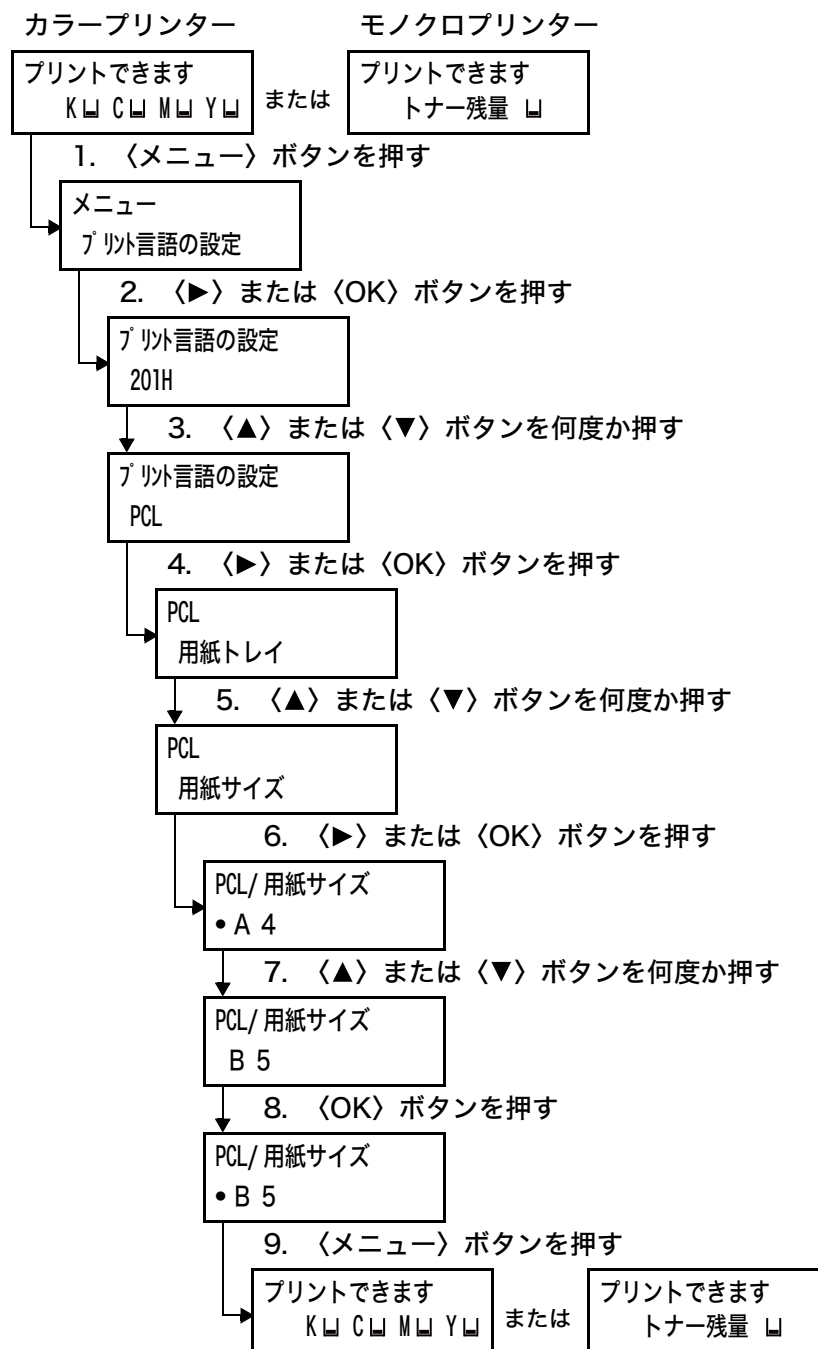
Line Termination

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

候補値とその動作は、次のとおりです。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない（初期値）	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

PCL モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、PCL モードの用紙サイズを［B5］に設定する場合を例に説明します。

2.3　PCL モードのリストについて

PCL モードのリストについて説明します。

補足

・ ほかのレポート / リストについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

PCL 設定リスト

PCL モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [PCL 設定リスト] を選択し、印刷します。

PCL フォントリスト

PCL で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [PCL フォント リスト] を選択し、印刷します。

PCL マクロ登録リスト

本機のハードディスク（オプション）にダウンロードされた、PCL マクロに関する情報が印刷されます。マクロ名、マクロ ID、バイト数が確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [PCL マクロ リスト] を選択し、印刷します。

索引

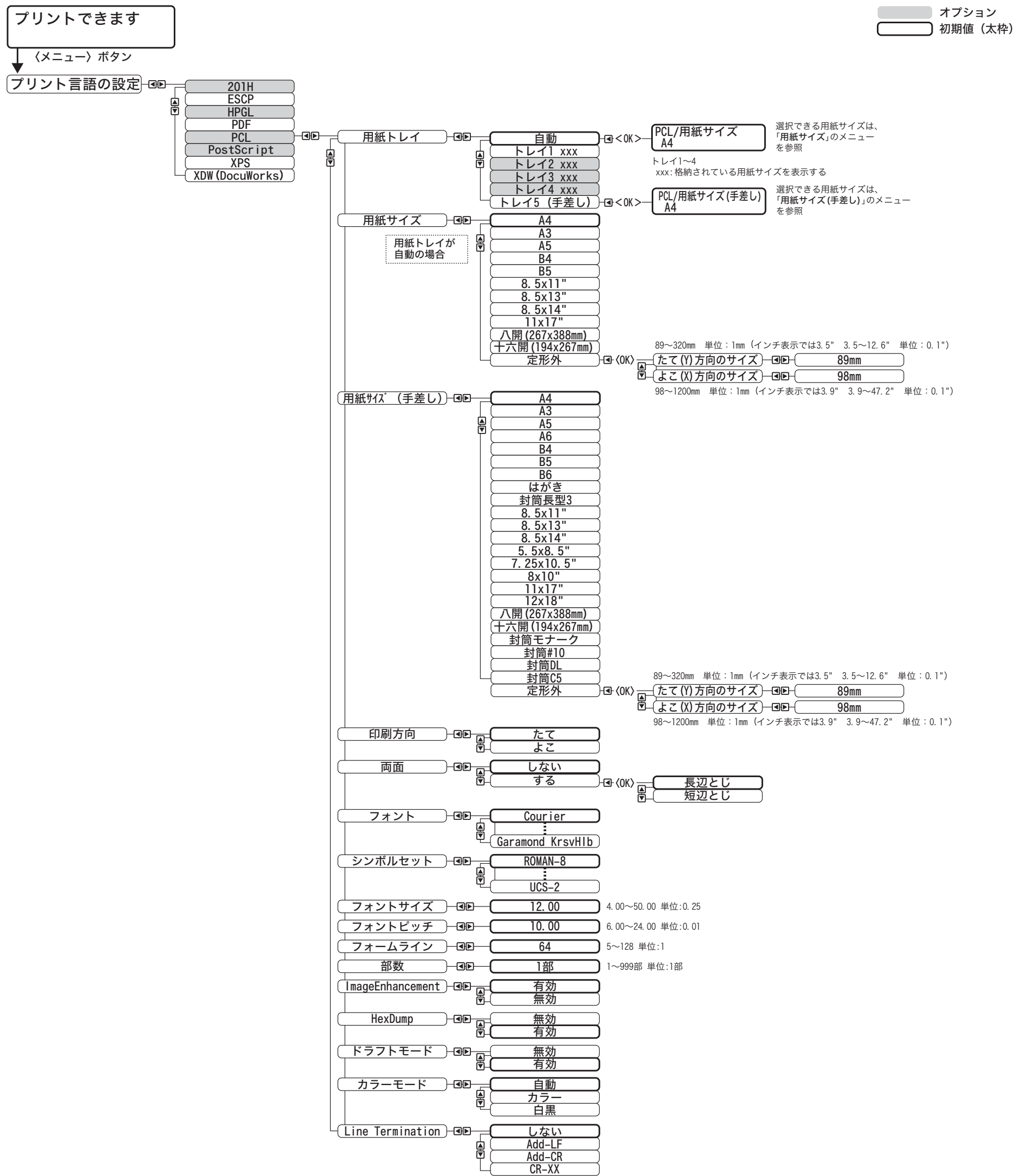
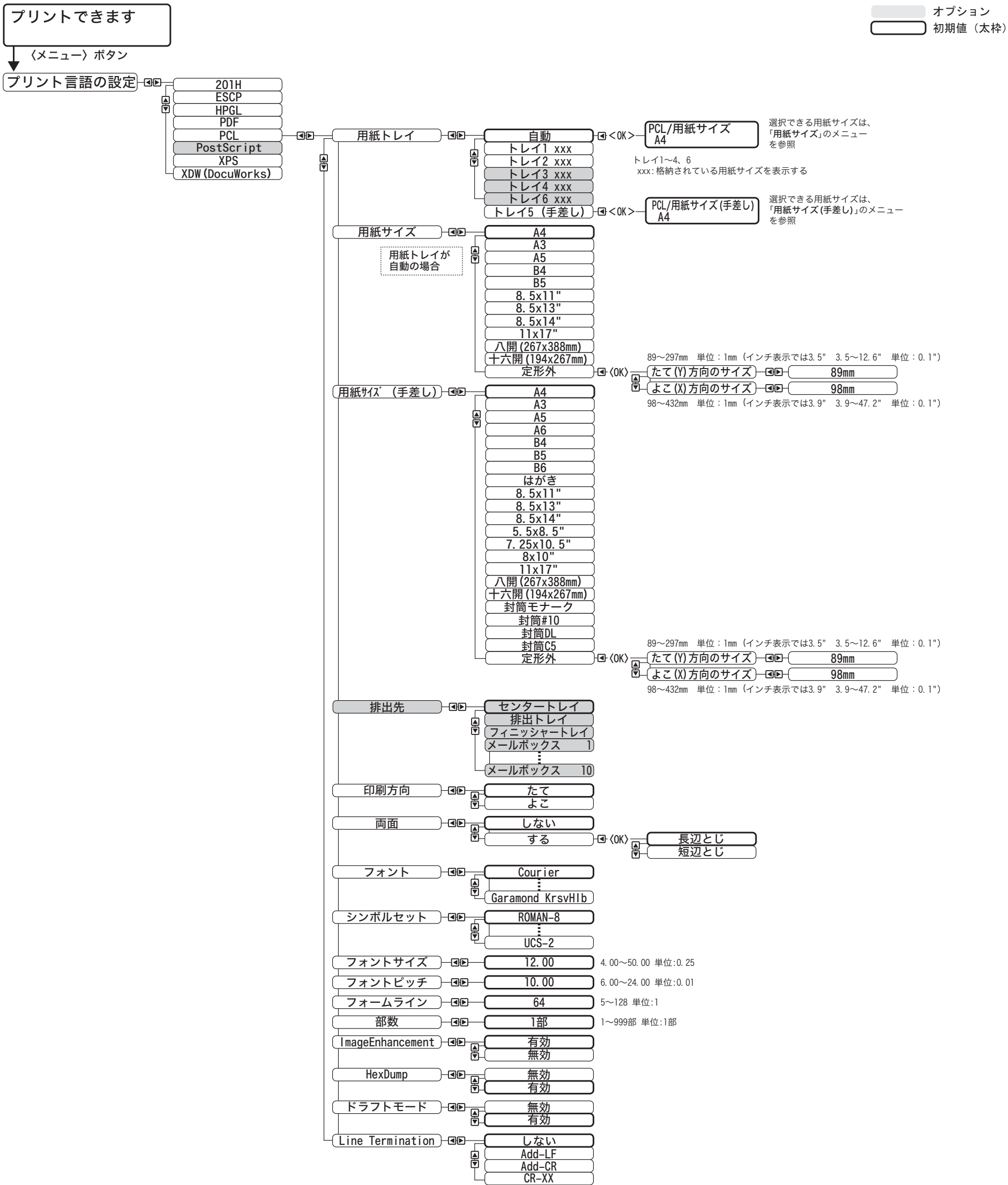
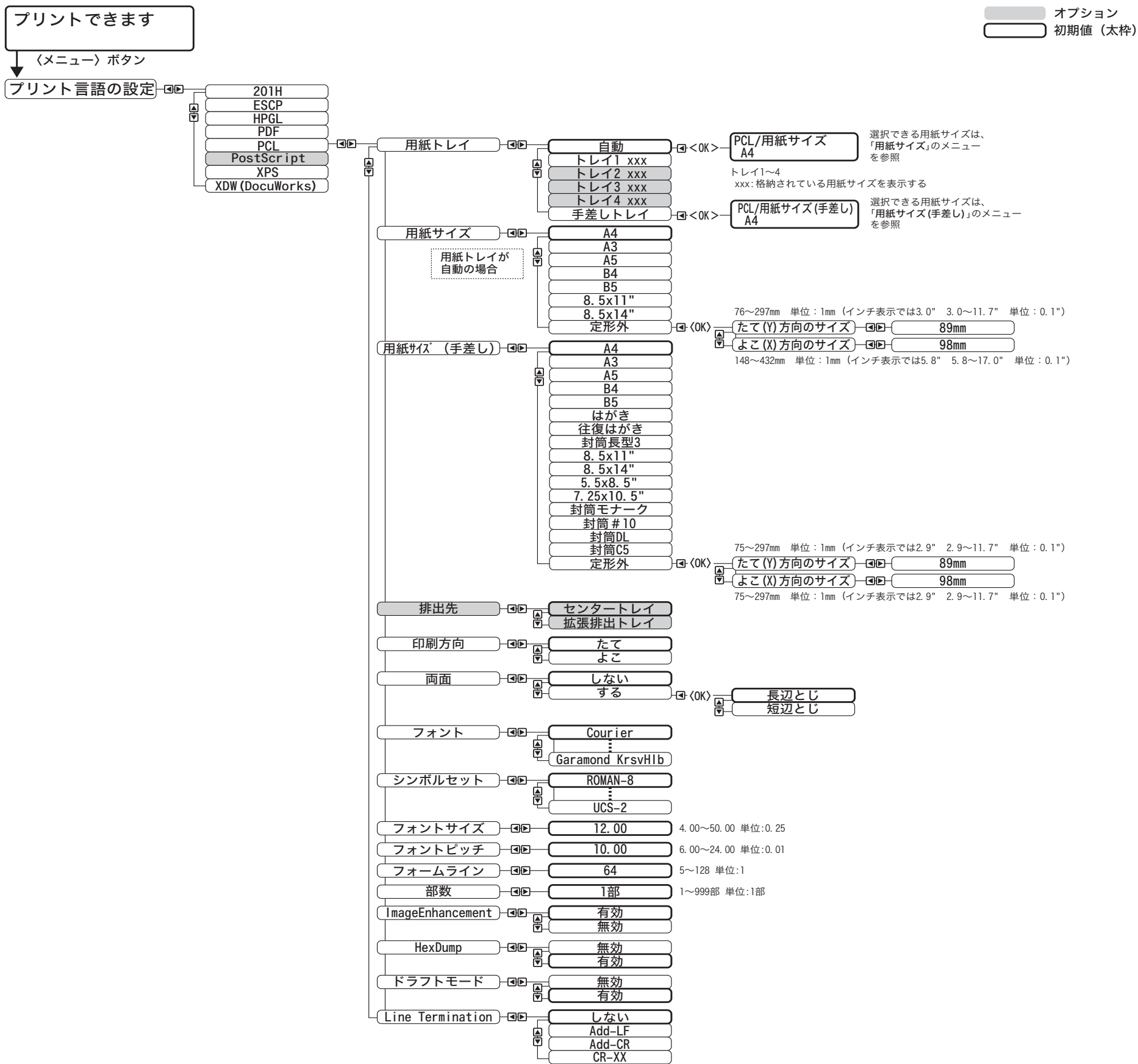
記号・英数

ア

カ

ハ

マ

モードメニュー一覧　DocuPrint C3360（PCL）

モードメニュー一覧　DocuPrint 5060/4060（PCL）

モードメニュー一覧　DocuPrint 4050（PCL）

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守**、**操作**、**修理**（内容・期間・費用）のお問い合わせ、**消耗品**のご購入について、および本機を廃却する場合は、
商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、
または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　フジゼロックス

0120-66-2209　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話できる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3360　DocuPrint 5060/4060/4050

PCL エミュレーション設定ガイド

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月—2008 年 11 月第 1 版

（管理 No: ME4345J1-1）